記者発表資料

平成22年 3月２５日

東 北 地 方 整 備 局

平成20年度道路陥没リスク診断業務の検証について（第２報）

～確認された空洞について補修工事を実施～

東北技術事務所で平成２０年度に発注を行った「平成２０年度道路陥没リスク診断業務」については、請負者（(財)道路保全技術センター）の業務が粗雑であるとして、平成２２年３月５日に(財)道路保全技術センターに対して指名停止措置を行ったところです。

その後、「空洞の可能性がある信号波形」であった５箇所の現地検証（ハンディ型地中レーダー探査、スコープ調査）を実施したところ、３箇所の空洞が確認されました。

2月から３月にかけ現地検証で発見された空洞４箇所（前回発表時の１箇所を含む）のうち、早期に補修が必要な３箇所について３月２３日までに補修工事を完了しました。

１．現地検証の結果について

「空洞の可能性がある信号波形」１１箇所のうち、未検証であった５箇所（秋田県秋田市２箇所、秋田県由利本荘市２箇所、山形県南陽市１箇所）で現地検証したところ、秋田市内の２箇所と由利本荘市の１箇所で空洞を確認しました。（現地検証結果ー別紙１、空洞の状況ー別紙２）

２．補修工事等の対応について

２月に確認した１箇所と３月に確認した３箇所と合わせて空洞は４箇所となりました。

このうち、３箇所については、早急な補修が必要と判断し、平成２２年３月２３日までに補修工事を完了しました。（別紙ー１参照）

残る１箇所については空洞の厚みが６ｃｍと薄いため、日常の道路パトロールにおいて路面の状態を経過観察していくこととし、H22年４月以降に補修工事を実施する予定です。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　道路部

仙台市青葉区二日町９－１５　TEL 022-225-2171

道路管理課長　　木我（きが）　茂　（内線4411）

別紙－１

「空洞の可能性がある信号波形」で未報告箇所（現地検証結果）

No.	市町村名	路線	現地検証 実施年月日	空洞規模					路面からの位置（m）	補修年月日	補修方法
				縦（m）		横（m）		厚み（m）			
1	山形県戸沢村	国道４７号	平成22年2月9日	空洞なし						－	－
2	山形県戸沢村	国道４７号	平成22年2月9日	空洞なし						－	－
3	山形県酒田市	国道４７号	平成22年2月9日	空洞なし						－	－
4	宮城県仙台市	国道４号	平成22年2月10日	空洞なし						－	－
5	宮城県仙台市	国道４号	平成22年2月10日	1.6	×	1.5	×	0.10	-0.43	平成22年3月23日	開削による補修済み
6	岩手県大船渡市	国道４５号	平成22年2月12日	空洞なし						－	－
7	秋田県由利本荘市	国道７号	平成22年3月5日	空洞なし						－	－
8	秋田県由利本荘市	国道７号	平成22年3月5日	2.0	×	1.8	×	0.18	-0.62	平成22年3月18日	開削による補修済み
9	秋田県秋田市	国道７号	平成22年3月5日	1.2	×	0.8	×	0.06	-0.28	通常の通行に支障がないことから、道路パトロールにおいて路面状態を観察し、H22年度に補修予定。	
10	秋田県秋田市	国道７号	平成22年3月5日	2.5	×	1.7	×	0.21	-0.29	平成22年3月8日	開削による補修済み
11	山形県南陽市	国道１３号	平成22年3月7日	空洞なし						－	－

別紙2

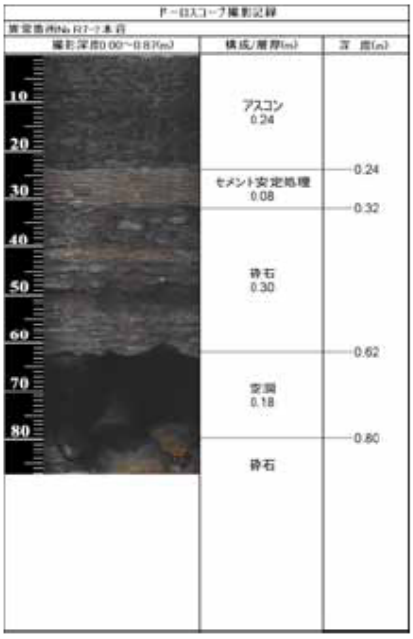
空洞の状況

No.8　秋田県由利本荘市西目町　地内

周辺状況写真



ドーロスコープ撮影記録

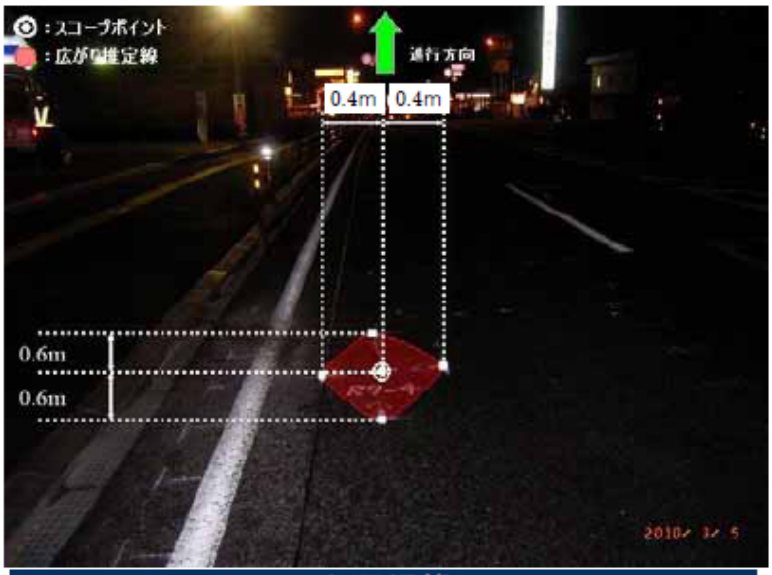


空洞規模

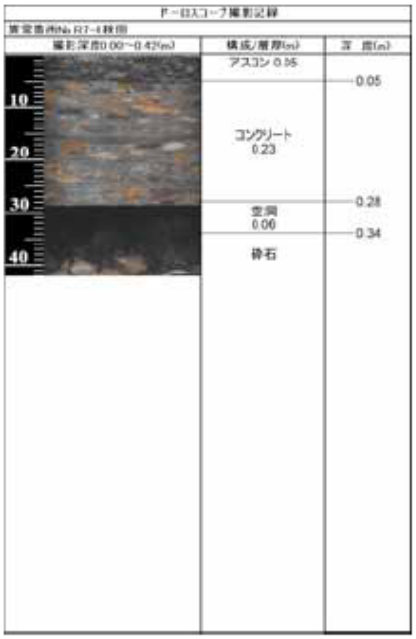
発生深度(m)	0.62	空 洞 厚(m)	0.18
縦断方向(m)	2.00	横断方向(m)	1.80
面　　積(m^2)	3.60	体　　積(m^3)	0.65

No.9　秋田県秋田市土崎港相染町字街道下　地内

周辺状況写真



ドーロスコープ撮影記録

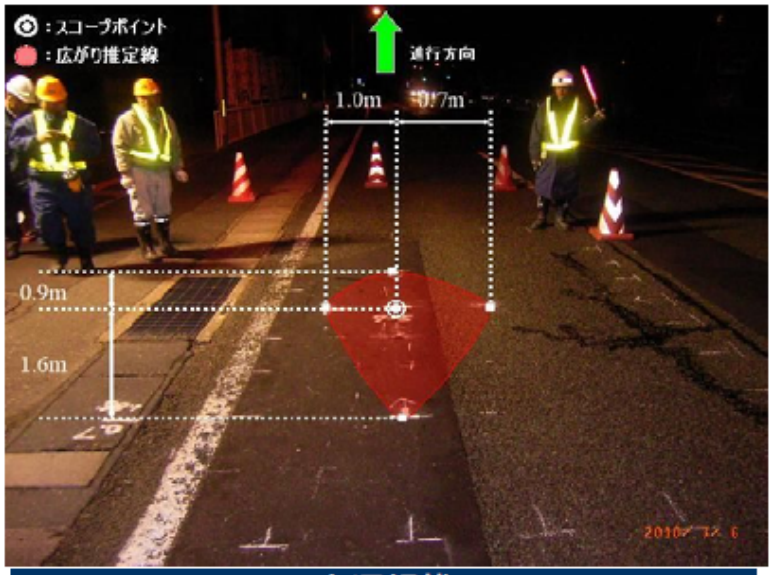


空洞規模

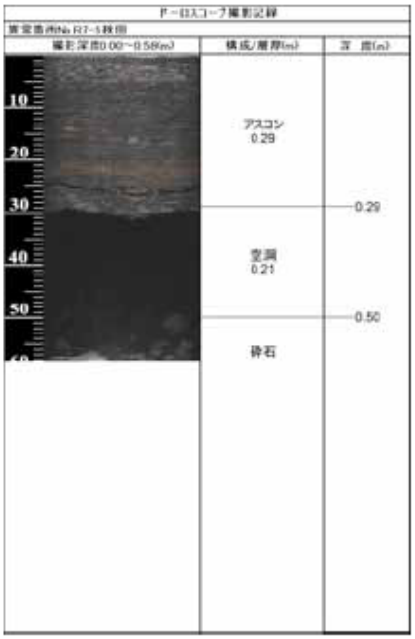
発生深度(m)	0.28	空 洞 厚(m)	0.06
縦断方向(m)	1.20	横断方向(m)	0.80
面　　積(m^2)	0.96	体　　積(m^3)	0.06

No.10　秋田県秋田市下新城中野字琵琶沼　地内

周辺状況写真



ドーロスコープ撮影記録



空洞規模

発生深度(m)	0.29	空 洞 厚(m)	0.21
縦断方向(m)	2.50	横断方向(m)	1.70
面　　積(m^2)	4.25	体　　積(m^3)	0.89